

<開放授業のご案内>

奈良佐保短期大学では地域に開かれた大学として、社会人等学生以外の方々に開放授業を設定しています。以下の一覧の科目の中から興味・関心のある授業を、学生と共に学ぶことができます。知識や見聞を広めたり、専門性の向上や学び直しにご利用ください。

分野別開放授業一覧

前期		※「人数制限」欄に*が入っている科目は人数に制限があるため、希望されても受講をお断りする場合があります。				
分野	授業科目	人数制限	担当教員	曜日	時限	授業内容
教養	日本の憲法		竹村 和也	金	4	わが国での権利保護のあり方について、基本的なことを学ぶ
	情報概論		中田 奈月	火	1	情報とコンピュータ及び情報通信に関する基本的な事項を広く学ぶ
	心理学		小槻 智彩	火	4	心理学を身近なものとしてとらえ、科学的な考え方を身につける
	社会学		中田 奈月	月	4	社会学の本質的な考え方や基本理念を理解し、社会的想像力を身につける
食	食品科学		池内 ますみ	月	3	食品成分の栄養上の特性と、食品の栄養評価についての知識を身につける
	食品衛生学		池内 ますみ	金	2	安全で健康な食生活を送るために、必要な基礎的知識を修得する
	基礎栄養学		三浦 さつき	月	2	栄養素の働き、消化と吸収、代謝について理解する
	応用栄養学		三浦 さつき	木	2	各ライフステージ、運動時、特殊環境での栄養アセスメントについて理解する
	食事療法論		矢和多 多姫子	火	3	メタボリックシンドロームなどの病気と食事の関係を学ぶ
	調理学		池内 ますみ	水	1	栄養バランスのとれたおいしい食物をつくるために、必要な知識を修得する
	食料経済		湯崎 真梨子	集中		食の専門家として、食農に関する様々な知識と見識を身につける
	カラーコーディネート論		中村 妙子	水	2	色彩の基本的知識を修得し、それを応用し展開して配色センスを磨く
	食農ビジネス		向井 光太郎	集中		6次産業化論と経営及び経営分析の基礎を学ぶ
ビジネス	日本企業論		登坂 一博	月	4	会社の仕組みを学び、日本企業の本質を分析・研究し、理解を深める
	マーケティング		向井 光太郎	火	3	マーケティングの基本を学び、マーケティングの発想を身につける
	日本経済とビジネス		谷村 真理	金	1	経済の基本的仕組みを理解し、企業人としての判断・行動力を修得する
子育て	社会福祉		潮谷 光人	水	1	社会福祉とは何か、社会福祉を取り巻く状況、課題について学ぶ
	相談援助		別所 崇	月	4	保育所等の児童福祉施設で展開される相談援助技術の理解を深める
	保育・教職入門		増井 啓子	金	2	教職の特殊性と社会的使命を理解し、教職を目指す心構えについて学ぶ
	保育原理		石田 裕子	水	2	保育の理念や歴史的変遷などから、保育の現状と課題について考える
	教育原理		杉山 晋平	月	2	教育者としての子ども観・教育観を深め、保育政策・教育改革を理解する
	学習・発達論		別所 崇	水	4	教育や保育実践にかかわる発達・学習に関する心理学について学ぶ
	小児保健A		安永 龍子	月	3	成長発達のプロセスや健康問題など子どもにおよぼす影響について学ぶ
	カリキュラム論		藤田 悦代	金	4	保育と教育の内容を考えたカリキュラム計画と評価の基本を理解する
	児童館の機能と運営		潮谷 光人 池田 英郎	水	4	児童館の起源や理念、機能等について学び、課題と展望を考える
介護・福祉	社会福祉概論		森永 夕美	木	1	多様化する家族・地域社会を踏まえ、今日の社会福祉について学ぶ
	高齢者の心理		森永 夕美	水	4	加齢による変化を学び、高齢者の心理的課題について考え、理解する
	認知症の理解II		森永 夕美	水	3	認知症に関する基礎的知識を学び、制度・関係機関の理解を深める
	障害の理解I		潮谷 光人	月	3	障害者の基本的理解を深め、介護の基本的視点を理解する
	こころとからだのしくみII (解剖生理学)		赤松 香奈子	金	2・3	解剖生理学の基礎知識を学び、加齢・疾病等による変化を理解する
	グリーンプランニングI		前川 良文 寺田 孝重	木	4	園芸療法や園芸福祉を学び、豊かに生活を送る知識・技術を修得する
	社会調査法	*	中田 奈月	火	4	社会調査を実践するスキルを身につける
	相談援助の基盤と専門職		武田 卓也	火	1	社会福祉士の役割と意義、相談援助の理念や援助技術等について学ぶ
	相談援助の理論と方法		小川 和代	木	2	社会福祉従事者として持つべき基本的な知識や援助過程を理解する
	社会保障	*	潮谷 光人	金	2	社会保障についての知識を身につけ、その機能と役割、課題について学ぶ
	保健医療サービス		安永 龍子	木	3	保健医療サービス、医療ソーシャルワーカーの機能と役割について学ぶ



後期		※「人数制限」欄に*が入っている科目は人数に制限があるため、希望されても受講をお断りする場合があります。				
分野	授業科目	人数制限	担当教員	曜日	時限	授業内容
教養	健康・スポーツ論		大高 千明	月	3	身体運動等の持つ意義を知り、健康づくりに役立つ知識を身につける
食	公衆衛生学		高尾 理樹夫	水	1	健康の成因や健康の保持増進、疾病・障害の予防について理解する
	食品材料学(加工学を含む)		池内 ますみ	水	3	食材として流通している農・畜・水産物の種類や成分、特徴について学ぶ
	食品微生物学		三浦 さつき	月	2	微生物の生育や発酵、利用食品やバイオテクノロジー利用について学ぶ
	フードスペシャリスト論		三浦 さつき	木	3	フードスペシャリストの役割と求められる知識を学ぶ
ビジネス	フードコーディネーター論		志垣 瞳	金	1	食に関する演出のための基礎的概念を学ぶ
	カラーコーディネート演習	*	中村 妙子	水	2	色彩の基本的知識を理解し、カラーコーディネーターとして必要な知識を学ぶ
	事業計画論		登坂 一博	月	4	経営学の基本的な理論を学び、ビジネスプラン作成力と表現力を身につける
	観光ビジネス	*	山本 あつし	火	3	自らの視点で次世代の観光ビジネスについて考え、創造する
子育て	地域活性化論	*	向井 光太郎	月	2	地域活性の特性、問題点を明らかにし、必要な取り組みについて学ぶ
	経営学総論		向井 光太郎	金	3	経営学の基礎を学び、事業戦略や新しい商品・サービスの企画について学ぶ
	障害者福祉		李 仙恵	水	3	障害の理解と支援の基礎知識、障害者を取り巻く問題について学ぶ
	在宅保育論		石田 裕子	金	3	在宅保育に関する知識を修得し、保育技術を再確認して身につける
	児童家庭福祉		中西 真	月	4	児童家庭福祉の理念と福祉実践、法制度や行政の重要性について学ぶ
	社会的養護		山口 直範	月	3	社会的養護の意義、児童の権利擁護や自立支援について理解する
	保育心理学演習		別所 崇	金	4	心理学の基礎的な概念の修得と、保育現場における具体的な援助を身につける
	小児保健B		安永 龍子	火	2	子どもの疾病が子どもと家族におよぼす影響を考え支援できる方法を学ぶ
	家庭支援論	*	中田 奈月	金	1	家庭の意義、子育て家庭を取り巻く社会的状況などについて理解する
	保育相談支援		別所 崇	月	1	保育相談支援の意義と原則を理解し、保護者支援の方法について学ぶ
	児童の健全育成と福祉	*	潮谷 光人	月	3	児童福祉分野における児童の健全育成活動の内容と目的を理解する
	教育方法の理論と実践	*	杉山 晋平	火	3	学校教育における情報機器及び教材の適切な活用方法を学ぶ
	国語	*	宮川 久美	金	3	基本的言語能力を身につけ、日本の伝統的言語文化に対して理解を深める
地域福祉の理論と方法		武田 千幸	火	4	地域福祉の基本的な考え方を理解し、専門職の役割と実際について学ぶ	
生活	*	園部 勝章	月	2	生活科の知識と技能を修得し、真理を見極める科学的視野を養う	
介護・福祉	発達と老化の理解		吉田 裕司	金	4	生涯発達理論に基づき、老化や疾患の理解を通して介護のあり方を学ぶ
	認知症の理解I		水野 尚美	月	2	認知症の基礎的知識の修得し、周囲の環境にも配慮した介護を理解する
	障害の理解II		安永 龍子	水	3	障害のある人のこころとからだの基礎を理解し、介護の視点を学ぶ
	こころとからだのしくみI (こころのしくみ)		小槻 智彩	火	2	介護サービス利用者のこころのしくみを理解し、心理的配慮を身につける
	こころとからだのしくみIII (生活援助方法論)		森田 婦美子	金	2	加齢に伴うこころとからだの生理的変化を理解し、介護の知識を修得する
	こころとからだのしくみIV (嚥下と口腔衛生)		畑下 芳史	火	3	介護現場で必要とされる食事についての知識と口腔ケアの知識、技術を学ぶ
	社会福祉概論		武田 千幸	火	1	社会福祉の基礎について理解する
	社会福祉施設経営		酒井 宏和	月	2	施設経営についての理解を深め、基本的なマネジメントを学ぶ
	福祉行財政と福祉計画		潮谷 光人	木	2	福祉行財政のシステムを把握し、福祉計画の方法などについて理解する
	高齢者に対する支援と介護保険制度 低所得者に対する支援と生活保護制度		平岡 毅	木	4	高齢者福祉の制度と実態を学び、介護保険制度の概要を理解する
更生保護制度		尾崎 剛志	水	3	低所得者の生活状況を把握し、生活保護制度等の基礎的な理解を深める	
		尾崎 剛志	水	4	更生保護の概要、様々な手続き、専門機関、専門職種について理解する	